

島根県立石見武道館

—— これまでのあゆみ

昭和63年5月、「石見部にも県立武道館を建設しよう」と大田市以西の柔道、剣道をはじめとする武道関係の団体が動き出し、「県立石見武道館建設期成同盟会（宇津徹男会長）」が発足。同年12月、浜田市民会館で設立総会を開催し県への陳情など積極的に行い、平成6年9月に浜田市での建設が決定され、平成7年10月に着工、平成8年11月に竣工された。

メインのアリーナ（柔道場・剣道場）は、県内で初めての遠赤外線暖房機を設置し、冬場の寒い時期でも利用しやすい環境を整えた。収容人員は680人、うち固定席532席を設けている。

また、各種のトレーニング機器を備えたトレーニング室、用途に応じて利用できる会議室、研修室など利用者の期待に沿える地域スポーツセンターとして誕生した。

平成9年1月に行った竣工式では、竣工記念事業として、全日本柔道連盟加納行光会長を招き、中国・韓国・全日本・島根県の選抜女子柔道チーム4チームによる「浜田国際親善女子柔道大会」を開催している。

同年2月1日から、県西部における競技力向上を始めとする武道等のスポーツ振興と地域住民の健康・体力づ



浜田国際親善女子柔道大会ポスター

くりの拠点として開館し、27年目を迎えることとなった。

その間、各種スポーツ教室、開館を記念した大会などを当館の自主事業として実施してきている。こうした事業を実施することにより、地域住民が健康で心豊かな生活を送る一助となるよう努めてきた。

また、武道関係団体等関係者の皆様には、当館建設当初から日常の稽古、練習の拠点として積極的に利用い



島根県立石見武道館全景

ただくとともに、当館の諸事業の推進、各種大会の開催にご支援をいただいている。

—— 現在の状況

開館当初から建設記念大会として、島根県立石見武道館少年武道大会（柔道・剣道）を開催している。

この伝統を継承し、関係競技団体と密に連携をとって全県から参加を募り継続的に開催している。

スポーツ教室は、当館の特性を生かした柔道、剣道、居合道、気功・太極拳といった武道教室をはじめ、健康増進、筋力・体力の向上、仲間づくりなど、多様なニーズに対応した、3B体操、卓球、ヘルスバレーなどを開催している。教室講師は、当館の専門性を持つ職員と競技団体からの推薦を受けた指導者が高いレベルの指導を提供している。

なお、来る「島根かみあり国スポ」に向け、島根県柔道連盟と共催し、島根県ジュニア柔道稽古会を開催している。選手・指導者の意識付け並びに競技レベルの向上と競技の普及・振興のため、全県の中学・高校生を主た

る対象に年間10回開催している。

また、10月は「スポーツ推進月間」として、スポーツ体験&チャレンジDAYをはじめ各種イベントを開催している。日ごろの運動不足の解消や、これからスポーツを始めるきっかけ作りとなるよう、また、スポーツに触れる機会を設けることで継続してスポーツ活動ができるための取り組みを行っている。

その他にも、ヘルスケアチェックの日を毎月設定し、高校生以上の利用者を対象に、体成分をはじめ体脂肪、部位別の筋肉・脂肪のバランス、基礎代謝量などをInBody430（体成分分析装置）で計測し、今後の運動の取り組みに役立てていただいている。

—— これから

「島根かみあり国スポ」の開催に向け、今後も地域に密着した社会体育の振興・発展の拠点として、利用者のニーズに応え、県民の皆様に愛されるよう一層努力していく。



少年柔道大会



ラージボール卓球教室



少年剣道大会



10月スポーツ推進月間 みんなで楽しく気功・太極拳